

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市軸形成促進事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	2	○
政策	31魅力あふれるまちづくりを進めます	担当課室	都市計画課			
施策	313質の高い既成市街地の整備	担当課室長	大塚 勝彦			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	【東鎌西口】国庫補助事業により道路の整備を完了させると共に、ポケットパークの整備も完了させる。また、整備完了後の地域活性化に繋げる方策を検討する。 【初富】関係機関と調整しながら概略設計を完成させる。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	【東鎌西口】駅前広場やコミュニティ道路、ポケットパーク等の整備が完了した中で、地域の活性化に向けた地元まちづくり団体等への支援策の検討を行う。 【初富】初富駅周辺の整備について、引き続き関係機関との協議を行い、整備方針を決定する。また、関係地権者との交渉を行い、整備に必要な用地を取得する。
②①に基づく取組み経緯	【東鎌西口】駅前広場やコミュニティ道路、ポケットパーク等の整備が完了した。 【初富】概略設計委託が完了した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	【東鎌西口】くらしのみちゾーン区域 【初富】初富駅周辺	意図(対象をどうするのか)	【東鎌西口】誰もが安心して歩くことができ、賑わいに満ちた中心市街地の形成を図る。 【初富】新京成線連続立体交差事業の進捗を見ながら駅前広場等の整備を行う。
②事務事業の概要	都市軸の一翼を担う東武鎌ヶ谷駅西口周辺地区及び初富駅周辺地区において、都市基盤整備の必要性を明らかにし、計画的な市街地の形成を図る。東武鎌ヶ谷駅西口周辺地区では、国土交通省の施策である「くらしのみちゾーン」に登録し、事業等を地元と共に推進している。初富駅周辺地区では、新京成線連続立体交差事業の進捗を見ながら駅周辺の整備を行うため、地元組織や関係機関と協議しながら事業を推進している。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	【東鎌西口】駅前広場やコミュニティ道路、ポケットパーク等の整備が完了した中で、地元まちづくり団体等を支援しながら地域の活性化を推進する必要があるが、地元関係者が高齢化し、次世代の担い手も不足している状況であるため、地域のコミュニティを強化する必要がある。 【初富】新京成線連続立体交差事業の進捗状況等を見据えながら整備を促進する必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果		【東鎌西口】駅前広場やコミュニティ道路、ポケットパーク等の整備が完了した。 【初富】初富駅前広場概略設計委託が完了した。					
②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	道路整備着手延長(東鎌西口)	0	300	125	m	業務取得
	ii	用地取得面積(初富)	1,279	0	0	m ²	業務取得
	iii	鎌ヶ谷市を住みよいと答えた市民割合	－	52	－	%	市民意識調査
③事務事業のコスト			平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳		平成27年度予算
事業費(千円)			103,644	120,627	金額(千円)	内容	29,221
国支出金(千円)			52,800	46,377	8,483	鎌ヶ谷駅西口地区境界線復元測量委託等	0
県支出金(千円)			0	0	109,167	鎌ヶ谷駅西口地区道路整備工事等	0
市債その他(千円)			46,200	34,000	2,977	初富駅前広場概略設計委託	26,100
一般財源(千円)			4,644	40,250			3,121

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	【東鎌西口】地域の活性化に向けて、地元まちづくり団体等への支援策の検討が必要である。 【初富】初富駅周辺の整備に向けて関係機関と協議中であり、引き続き整備に向けた検討が必要である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	【東鎌西口】駅前広場やコミュニティ道路、ポケットパーク等の整備が完了した状況の中で、それらを活かしながら地域の活性化を図る必要があるため。 【初富】駅利用者の利便性や安全性を向上させるべく、新京成線連続立体交差事業の進捗を見ながら駅周辺の整備を促進する必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画		平成26年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費		予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	【東鎌西口】駅前広場やコミュニティ道路、ポケットパーク等の整備完了。【初富】概略設計委託は完了。用地測量委託の実施については再検討することとなった。	50,600	128,458	当初	50,600	120,627	H25からの繰越	77,843
				H25⇒26繰越	77,858			
				補正	0	現年分	42,784	
				流用・充当	0			
③達成状況		完了						
④未完了・非着手の理由		平成27年度への繰越額(単位:千円) 0						

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	近隣商業拠点整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	2	○
政策	31魅力あふれるまちづくりを進めます	担当課室	都市計画課			
施策	313質の高い既成市街地の整備	担当課室長	大塚 勝彦			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	関係機関(連立事業者、道路管理者、警察)と調整しながら概略設計を完成させると共に、関係地権者との調整を行う。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	北初富駅周辺の整備について、引き続き関係機関との協議を行い、整備方針を決定する。また、整備に必要な用地の取得に向けて関係地権者との交渉を行う。
②①に基づく取組み結果	概略設計委託が完了した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	北初富駅周辺	意図(対象をどうするのか)	新京成線連続立体交差事業の進捗を見ながら駅前広場等の整備を行う。
②事務事業の概要	近隣商業拠点の一つである北初富駅周辺地区では、市民の日常生活に身近な商業等のサービス機能の充実を目指し、駅前広場等の整備に向け事業を推進している。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	新京成線連続立体交差事業の進捗状況等を見据えた調整が必要である。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果		新京成線連続立体交差事業の進捗に合わせた駅前広場の整備に向け、平成26年度は北初富駅前広場概略設計委託が完了した。					
②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	事業着手箇所数	0	0	0	箇所	業務取得
	ii	鎌ヶ谷市を住みよいと答えた市民割合	－	52	－	%	市民意識調査
	iii						
③事務事業のコスト		平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳			平成27年度予算
事業費(千円)		492	1,486	金額(千円)		内容	1,000
	国支出金(千円)	0	0	1,486		北初富駅前広場概略設計委託	0
	県支出金(千円)	0	0				0
	市債その他(千円)	0	0				0
	一般財源(千円)	492	1,486				1,000

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	北初富駅周辺の整備に向けて関係機関と協議中であり、引き続き整備に向けた検討が必要である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	駅利用者の利便性や安全性を向上させるべく、新京成線連続立体交差事業の進捗を見ながら駅前広場等の整備を促進する必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画		・概略設計 ・用地測量		平成26年度事業費の状況(単位:千円)								
				計画事業費		予算額		決算額				
②計画に対する事業実績		概略設計委託は完了。用地測量委託の実施については再検討することとなった。		300	1,786	当初	300	H25からの繰越	1,486			
③達成状況						H25⇒26繰越				1,486		
④未完了・非着手の理由						補正				0	現年分	0
						流用・充当				0		
				平成27年度への繰越額(単位:千円)						0		